

地域戦略推進型公共事業

～地域の課題を「連携と協働」で解決する「新たな公共事業の展開」～

1 概要

施設の整備による景観の改善や満足度の向上、新たな経済活動等のストック効果など、公共事業にはB/Cなど従来からの客観的指標だけでは測りきれない効果も多く、信州創生には「新しい視点での社会資本整備」が必要となっています。

そのため建設部では、地域のビジョンの実現、課題の解決に向けて、地域と連携・協働しながら、戦略的に社会資本整備を進める「地域戦略推進型公共事業」の取組を、本年度から本格的に始動します。

この取組では、公共事業のみでなく、部局横断的に各部局の支援策も併せてパッケージ化し、重点的かつ効果的に実施します。

2 本年度の取組

○地域戦略推進型公共事業として、「諏訪湖を活かしたまちづくり」や「観光地の歩道グレードアッププラン」を実施します。

○各地域で「地域課題・検討解決の場」を設け、地域や市町村のニーズの掘り起こしを行い、地域との連携・協働により、地域戦略推進型公共事業の展開を図ります。

3 建設部の公共事業の新たな展開

個別課題対応型(継続)

- ・護岸がなく大雨の時に不安
- ・道路が狭く車がすれ違いできない
- ・家の裏の斜面が崩れて心配 など
(インフラの不備や不足)

点

地域の要望

要望の解決策は、
当該箇所の改良実施など明確

建設事務所等

個別事業により対応
河川、道路、砂防事業など

地域戦略推進型(新規)

地域が抱える具体的な課題やビジョン
(例) 地域の観光地をもっと売り出したい など

面

地域・市町村のニーズ

建設事務所

上流からのアプローチ(地域ニーズの把握)

地域課題検討・解決の場

地域のビジョン・戦略実現に向け解決策を
地域や市町村と一緒に検討

地域住民、市町村、民間事業者、県現地機関等
(地方事務所、保健福祉事務所、建設事務所等)

支援策のパッケージ化

県施策

公共事業
ソフト施策等

+

地域・市町村の取組

ストック効果の発現

「諏訪湖」を活かした戦略的なまちづくり

～輝く諏訪湖周の創出～

1 地域のビジョン

憩いの場、健康づくりの場として、地域の要である諏訪湖。豊かな自然に囲まれ、温泉や諏訪大社等の地域資源が豊富な県内有数の観光地でもある諏訪地域。この資源を、最大限活用し、地域の活力を創出する。

2 地域のビジョン・戦略の実現に向けた連携

○諏訪地域戦略会議 (構成メンバー:a、f)

県と市町村が連携し、個性、魅力を活かした政策のあり方や方向性を一体となって検討する。

・諏訪湖環境改善行動会議 (構成メンバー:a、b、d、f)

関係行政機関、関係団体及び市民団体等が一体となり行政と民間が協働して諏訪湖の環境改善に取り組むことを目的とする。

・諏訪湖周サイクリングロード検討会議 (構成メンバー:a、f)

交通安全、観光振興、健康増進等の観点から諏訪湖周サイクリングロードの整備の推進を目的とする。

・諏訪サイクルプロジェクト (構成メンバー:a、e)

官民が共同して、自転車を軸に工業、商業、観光を連動させ地域活性化を図ることを目的とする。

・諏訪湖アダプトプログラム (構成メンバー:b、c、d)

地域ボランティアによる諏訪湖の清掃・美化活動

a: 諏訪地域市町村等 b: 諏訪湖漁協等の関係団体
c: 企業、地域住民・団体等 d: 市民団体、NPO等
e: 諏訪サイクルプロジェクト(民間団体)

f: 長野県(環境部、農政部、建設部、観光部、教育委員会、
諏訪地方事務所、諏訪建設事務所、諏訪湖流域下水道
事務所、水産試験場諏訪支場、諏訪保健福祉事務所、
環境保全研究所、諏訪農業改良普及センター)

3 連携・協働の取組

